

「村山首相談話を継承し発展させる会」主催／「国際アジア共同体学会」後援

日本反戦平和記憶国際シンポジウム

第二次安倍内閣は、防衛費を毎年増加させ続け、2015年には集団的自衛権の行使容認を含む新安保法制を制定して憲法の平和主義を形骸化させようとしています。現在、安倍首相は2020年の憲法改正で自衛隊を憲法に盛り込み平和主義の核心である憲法9条2項の「戦力不保持、交戦権否認」を死文化させようと狙っています。

このように日本の政治状況は大変危険な方向に向かって進んでいますが、日本人の中には政治に関心な人も少なくありません。その原因は、一つには日本人が過去の旧日本軍による中国・アジアへの戦争について教育を受けていないことにあります。同時に、日本人、特に若者が憲法の平和主義を支えてきた戦後の日本民衆の反戦平和の運動を知らないことにあります。

今回、私たちが中国からお招きする南京師範大学の林敏潔教授は、長年「日本の民衆の反戦運動とその記憶」について研究されています。確かに日本の保守・支配層は中国・アジア諸国への侵略と植民地支配という歴史の真実から目を背けてきました。しかし他方で、日本の民衆は反戦・平和の実現をめざして粘り強い活動を続け、憲法の平和主義を護ってきました。

林敏潔教授は、中国の人々、特に若い世代に日本での反戦・平和の活動の事実を正確に伝えることは、長期的に見れば日本と中国の友好と和解と共生に役立つという信念から、地道な研究に取り組んでこられました。林教授の研究は、実は日本人にとっても極めて重要です。

私たちは、アジアと世界の平和実現をめざし安倍政権の戦争政策に反対する立場から、林敏潔教授の日本における反戦・平和の活動記憶を後世に残そうという思いに賛同し、日本の学者・研究者・ジャーナリスト・社会運動家が一堂に会し、日本反戦平和記憶国際シンポジウムを下記の要領で開催する事にしました。多くの皆様方のご出席をお待ちしております。

日時：**2019年3月8日（金）16時～19時30分**

15時30分から、衆議院第1議員会館ロビーで入館証を配布します。

会場：**衆議院第一議員会館・B1・大会議室**

（東京都千代田区永田町2-2-1）

※必ず、事前申し込みが必要です。

●申込先：会場は300名定員です。300名で申し込みを締め切りますので、恐縮ですが、**なるべく早めに**、以下まで**メールでお申し込み**を、お願い致します。

村山首相談話の会・Email：murayamadanwa1995@ybb.ne.jp

携帯電話：090-8808-5000

プログラム

I. 総合司会 小松拓也(俳優)



II. 主催者挨拶 藤田高景(村山首相談話の会・理事長)



III. 来賓挨拶 福山真劫(平和フォーラム代表)



IV. スピーチ

鳥越俊太郎
(ジャーナリスト)



林敏潔
(南京師範大学教授)



香山リカ
(精神科医・立教大学教授)



叶 琳
(南京大学教授)



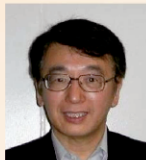
高野孟
(ジャーナリスト)



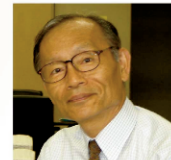
姜 滕龍
(南京師範大学
博士課程後期課程)



木村朗
(鹿児島大学教授)



瀬 瀬 厚
(明治大学特任教授)



V. 特別報告 南京大虐殺を問い続ける意味
.....田中宏(ノーモア南京の会・東京)



VI. 活動報告

- ①朝鮮半島・植民地支配と強制連行 西澤清(東京朝鮮人強制連行真相調査団代表)
- ②731部隊の細菌戦を裏づける記録群 奈須重雄(NPO法人731部隊・細菌戦資料センター)
- ③重慶大爆撃の責任を問う 三角忠(重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京)
- ④詩の朗読 ビタミン和子(戦争の犠牲者と平和を願う人々に捧ぐ「峠三吉 原爆詩集 序」より)
- ⑤日本の植民地主義清算 矢野秀喜(朝鮮人強制労働被害者補償立法をめざす日韓共同行動事務局長)
- ⑥ヤスクニと天皇問題 新孝一(安倍靖国参拝違憲訴訟の会・東京)

VII. 総括発言進藤榮一(筑波大学大学院名誉教授)



VIII. 閉会